

ふれあい祭実行委員会

活動

- カードに書かれた情報を総合して、祭の出店の場所を決める。

ねらい

- 課題解決の方法を理解する。
- 情報の細部まで注意する。
- 自分の情報や意見を適切に提示する。
- メンバーの情報や意見をしっかり聞く。
- 自分やメンバーの気持ちに気づく。
- グループの動きや雰囲気気づく。

課題

- あなたたちは、ふれあい祭実行委員です。
- ふれあい祭で、模擬店をすることになりました。
- 出店についていくつかの条件があります。
- 各団体からさまざまな要求が出ています。
- あなた方の課題は、これらの条件や要求を満たす、**模擬店の配置計画図**を作ることです。

進め方

- 5人組を作る。
- 22枚の情報カードを、均等に配布する。
- カードの情報を総合して、課題を解決する。

ルール

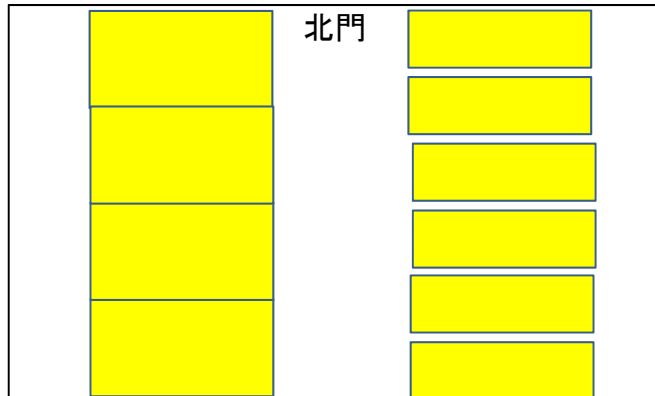
- 情報は口頭で読み上げる。
- 情報カードを机の上に置いたりして人に見せてはいけない。
- 情報をそのまま書き写してはいけない。
- 簡単なメモや表や図は書いてもかまわない。

情報カード・A3版の白紙を配布します

ワークを始めます

- 時間は20分。
- 完成したチームは手を挙げて知らせる。
- それでは、ワークを開始します。

ヒント(1)



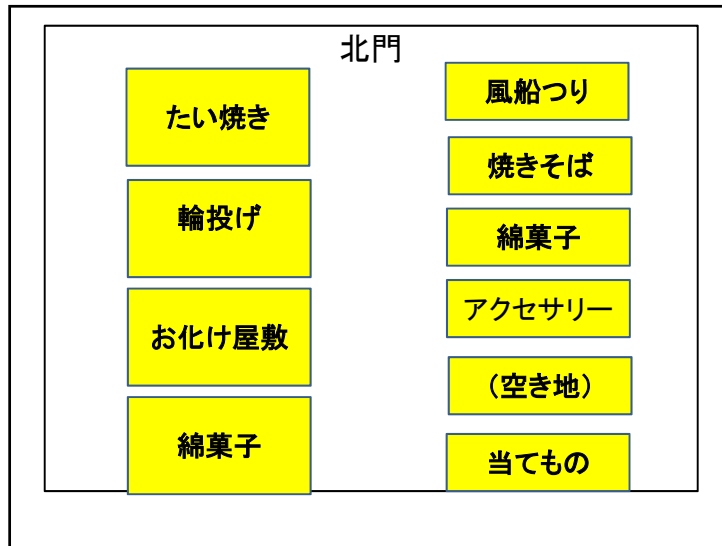
ヒント(2)

- 店の種類は、
- アクセサリー
 - 当ても、
 - お化け屋敷
 - 風船つり
 - たい焼き
 - 焼きそば
 - 綿菓子
 - 輪投げ

ヒント(3)

- ⑰の情報がポイント。
- 思い込みにとらわれず、柔軟な発想を。

正解を発表します。



情報集約型課題解決の方法

- 現在は情報化社会。
- さまざまな情報を集約して問題を解決していかなければならないことが多くある。
- 情報の集約の仕方やチームの働きについて考えよう。

情報の種類を見分ける

1. 基準となる情報
 - ① 南北の通りの両側に、②③ 東に小さな店が6つ、西に大きな店が4つある。
 - ⑤ 食べ物店は隣にしないが、⑥ 例外がある。
2. 店の大小や位置の情報
3. 他店との関係の情報
 - ・「となり」「向かい」「同じ並び」「手前」「間」。
4. 空き地の情報
5. 重要な情報と関係ない情報
 - ① 課題解決に無関係だが、⑦ 同じサービス情報だが重要な言葉が隠されている。

グループの働き

- 全員で協力して一つの課題に取り組む。
- 必要な時に必要な情報を提供する。
- メンバーの情報をしっかり聴く。
- アイディアを積極的に出す。
- グループの動きや雰囲気気づく。
- 自分やメンバーの気持ちに気づく。

ワークシートを配布します。

ふりかえり

- 今日のワークについてふりかえる。
- あなたが果たした役割についてふりかえる。
- 今日のワークで気づいたこと、考えたことについて書く。